

もっと知りたい！



遠野の予算

平成26年度遠野市予算概要

市長の
今年の方針を
知りたい！

▷ P 2

収入と支出の
バランスは？

▷ P 4

今年の遠野市、
どんなことを
するの？

▷ P 6

私たちが納めた
税金を大事に
使ってほしい！

▷ P 8

消費税変更で
市の使用料も
変わるのか
のお…。

▷ P 10

市の貯金と
借金の
バランスは？

▷ P 12

消費税率引き上げに伴う

公共料金変更の お知らせ

緊急課題に待ったなし！

平成26年3月遠野市議会定例会で、本田敏秋遠野市長が表明した「遠野市長施政方針演述」の概要をお知らせします。

※施政方針とは、新年度の市政運営に対する考え方や主要な事業について示すものです。



私は、昨年9月に、新たに4年間の任期をいただくにあたり、市政報告会を開催し、それぞれの地域の声を直接聞かせていただきました。その結果を「10・とおの約束」として示し、この約束を着実に実行するため、全職員を対象に説明会を開催し、意識の共有を図りました。

緊急 急的優先課題として「地域経済の振興と雇用の確保、交流人口の拡大」と「子育てするなら遠野、少子化対策と教育環境の整備」の二つを推進するため、副市長、教育長を本部長とし、推進本部を立ち上げます。

平成26年度予算は「とおの資源再生予算」と位置づけ、

「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け、総額179億3,000万円としました。歳出は施策の選択と財源の重点化を図るため、スクラップ＆ビルドを徹底し、前年度比1億9,300万円減額。また4月からの消費税率の引き上げも考慮し、適正な市民負担と行政バランスに配慮した予算としました。

遠野市総合計画基本構想の五つの大綱別に、主要な施策について説明します。※具体例はP 6・7を参照ください。

大綱一「自然を愛し共生するまちづくり」について。平成26年度には、本市の地域資源を生かした新エネルギーの導入や、地域課題の解決手段としての新エネルギー

活用策を示します。また安全・安心な地域社会とするため、「遠野市防災基本条例」に取り組むとともに、ハザードマップを作成します。さらに、総合防災センターを拠点に地域の防災体制の強化に取り組めます。

大綱二「健やかに人が輝くまちづくり」について。医師確保に努めるとともに、助産院「ねっと・ゆりかご」を拠点に、医療機関との連携を強化するほか、従来の特定不妊治療支援の拡充に加え、新たに一般不妊治療にも支援を拡大します。また平成28年に開催される「希望郷いわて国体」へ向け、運動公園陸上競技場の天然芝工事などの環境整備、大会開催に向けた準備を着実に推進します。

緊急優先課題×2

子育てするなら遠野



目まぐるしく変化する子育て環境や教育現場に対応。学校や保育施設、出産を応援できる環境の整備、子どもたちの基礎学力の向上、平成28年いわて国体へ向けた準備などに取り組めます。

地域経済の振興など



まちの発展は産業振興から。農林畜産業の振興、企業誘致や雇用の確保、第1～3次産業の枠組みを超えた産業連携、4月から運行する「SL銀河」を軸にした新たな観光振興などに取り組めます。

備を着実に推進します。

大綱三「活力を創意で築くまちづくり」について。昨年12月に完成した大野平キャトルセンター、今年の秋に完成する石羽根キャトルセンター、遠野市畜産振興公社を中核に、民間企業との連携のもと「遠野生まれ遠野育ち」としての遠野産牛の銘柄確立を推進します。また4月からJR釜石線で運行される「SL銀河」にあわせ、推進事業を展開し、観光宣伝や受け入れ体制整備に取り組めます。

大綱四「ふるさとの文化を育むまちづくり」について。中学校再編に伴い、昨年4月から各中学校の新しい歴史が始まりました。次代を担う子どもたちは「知育」「徳

育」「体育」といった総合的な学力の向上が求められています。そのためにも、より良い教育環境づくりとしての学校整備、施設の適切な維持補修に取り組むほか、市民協働による地域教育を大切にしていきます。また、昨年公有化した国指定重要文化財「千葉家住宅」の保全のため、市民と有識者による委員会を立ち上げ、保存活用基本構想の策定などを進めます。

大綱五「みんなで考え支え合うまちづくり」について。中学校再編後の学校跡地活用については、地域と協議を重ねながらその利活用の具体化を推進します。市民センターの改修工事に取り組み、新たな市民協働の拠点とします。ま

た、旧土淵中学校では東京に本社をおく民間企業と、地域づくりや人材養成などの連携を図ります。

これまで「遠野スタイルの創造」をまちづくりの基本理念として取り組んできました。また、まちをより良くしようと行動すること、地域の特性や資源を活かすこと、市民が主体性を持つことを念頭に、新しい可能性の開拓に挑戦してきました。4月には新庁舎建設室を設置し、市としての方針を決定し、作業を加速させるなど新たな課題に挑みます。

今後も、遠野スタイルの実現のため「全力投球」「一所懸命」「誠心誠意」を信条に、市政課題に取り組んでまいります。

平成26年度遠野市
一般会計予算

179億3,000万円 前年度比 1.1%減

テーマ

とおの資源再生予算！

古くて新しいものは光り輝く



遠野の地域資源に光を当て、
まちづくりの拠点を再生！

前年度と比べ1億9,300万円減の緊縮型予算です。「直ちにに取り組む二つの緊急・優先課題」とする二つ(P 3上参照)に取り組む一方で、職員手当、事務費の見直しなどで予算の効率化を実現しました。

特別会計予算 84億9,476万円

特別会計	予算額
国民健康保険(保険事業分)	35億3,304万円
国民健康保険(直営診療施設分)	2億4,816万円
後期高齢者医療	2億9,751万円
介護保険(保険事業分)	31億161万円
介護保険(介護サービス事業分)	1,581万円
ケーブルテレビ事業	4億6,774万円
農業集落排水事業	7,904万円
下水道事業	7億5,186万円

端数処理をしているため、合計額は一致しません。

公営企業会計予算

遠野市の水道に関係する仕事で、収入が8億1,051万円で、支出が6億5,530万円の予算です。

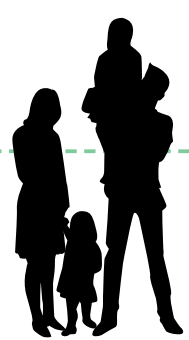
STUDY！

① 特別会計予算

特定の目的のための予算で、国民健康保険税などの収入が財源。そのため一般会計とは別に計算する。遠野市には八つある。

② 公営企業会計予算

民間企業と同じように事業を行い収益をあげて運営している予算。遠野市には水道事業会計予算がある。



市の主な収入には、市税や国と県からの交付金、銀行などから借りるお金などがあります。

収入

合 計
一般会計予算
179億3,000万円

端数処理をしているため、合計額は一致しません。

支出

市の主な支出は、教育や福祉、医療など市民の皆さまの暮らしのためのものや、道路整備、災害に対応するためなどに使われます。

自主財源

①市 税 24億7,832万円 皆さまから納めていただいているお金

②繰入金・諸収入等 18億5,687万円 基金(貯金)を取り崩すお金など

③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税等 84億9,095万円 皆さまが国に納めているお金の一部

④国や県からの支出金 32億1,937万円 皆さまが国や県に納めているお金の一部

⑤市 債 18億8,450万円 銀行などから借りるお金

依存財源

76% 依存財源

24% 自主財源

メモ

市税や貯金の取り崩しなど、市が自ら得ることができる収入を**自主財源**といい、全体の**24%**(表中①②)を占めます。残りが国などから補助される**依存財源**で、**76%**(表中③④⑤)となっています。

★収入の特徴

「**自主財源**」のうち市税(皆さまからいただいているお金)は4,613万円 増の24億7,832万円。国などからの補助による「**依存財源**」のうち地方交付税は1億3,384万円増の78億9,217万円となっています。国からの支出金は、市民セン

ターの大規模改修、いわて国体に向けたサッカー場の整備などで2億3,906万円の増、市債は新規の発行を抑え、6,990万円の減をそれぞれ見込んでいます。依然として国などからの補助金に頼る財政状況となっています。

年間収支500万円の家計の家計簿に例えると…

※年間	
収 入 源	金 額
①基本給与	69万円
②貯金の取り崩し	52万円
③親からの仕送り	237万円
④親からの特別な仕送り	90万円
⑤銀行からの借り入れ	52万円
合 計	500万円

※年間	
払うお金	金 額
①食費	89万円
②医療費	78万円
③借金の返済	71万円
④⑤家の増改築	69万円
⑥⑦光熱費、消耗品など	133万円
⑧⑨子供への仕送り貯金など	60万円
合 計	500万円

※上図と下図の表中番号は対応しています

義務的経費

①人件費 31億7,643万円 市職員の給料などにかかるお金

②扶助費 28億967万円 生活保護、障がい者の支援、福祉や医療にかかるお金

③公債費 25億2,780万円 過去の借金(収入編の⑤市債)の返済にかかるお金

④普通建設事業費 24億5,389万円 道路の整備、学校などの建て替えやその補修などにかかるお金

⑤災害復旧事業費 4,000万円 自然災害などの復旧にかかるお金

⑥物件費 29億8,363万円 光熱水費、消耗品などにかかるお金

⑦補助費等 17億9,136万円 市が加入している事務組合などに納めるお金

⑧繰出金 15億1,322万円 特別会計予算(P3)などに出すお金

⑨積立金など 6億3,401万円 貯金(基金への積立)などのお金

投資的経費

その他経費

39% 47% 39% 47%

投資的経費

★支出の特徴

人件費は、定員管理計画による職員数の減などにより、前年度と比べ9,366万円減少。扶助費は医療給付費や生活保護費の所要額を見込み、28億円を確保しました。普通建設事業費は市民センターの大規模改修、いわて国体に向けたサッカー場の整備などにより、4,294万円増額しました。

メモ

表中①②③は、生活していく中で必ず使わなくては暮らしていけないお金のため、**義務的経費**(全体の**47%**)と呼ばれています。表中④⑤は私たちが利用する建物の整備、また、雨や雪、地震などの災害に対応するお金で、**投資的経費**(全体の**14%**)と言えます。その他、電気や水道などの料金、消耗品、貯金などにかかる**その他の経費**は全体の**39%**を占めています。

主な事業を紹介します



平成26年度の新規事業や主な事業を、
五つの大綱に分けて紹介します。

01

自然を愛し
共生するまちづくり

New 社会保障・税番号制度関連システム整備事業費…1,696万円

平成28年から開始予定のマイナンバー制度へ対応するためのシステムを整備します。

New 市道リフレッシュ事業費…500万円

傷んだ道路の計画的な修繕に向け、路面の状態を調査します。

● 農林業系副産物焼却処理事業費…3,628万円
汚染牧草の保管や焼却処理にかかる費用です。

● 岩手中部広域行政組合負担金…9,738万円
平成27年から運営するクリーンセンター(3市1町で構成)の整備にかかる負担金です。



北上市に整備されているクリーンセンターの完成予想図

マイナンバー
制度へ対応します



食育の拠点
総合食育センター



妊産婦の皆さんの安心のために

02

健やかに
人が輝くまちづくり

New 子育てするなら遠野構想環境整備事業費…200万円

助産院「ねっと・ゆりかご」を拠点とした、産前・産後のケア体制整備の検討をします。

New ばすぼる推進事業費…99万円

「遠野市総合食育センター(愛称:ばすぼる)」を拠点に、食育事業を実施します。

● 岩手国体サッカー会場整備事業費…

1億4,488万円

平成28年に開催されるいわて国体へ向け、少年サッカー会場となる運動公園陸上競技場の天然芝の張替工事を実施します。

● 不妊治療支援事業費…1,500万円

不妊治療にかかる助成を拡充し、治療を希望する夫婦への負担を少しでも減らします。

03

活力を創意で
築くまちづくり

New 遠野牛確立生産強化対策事業費…1,788万円

「いわて遠野牛」のブランド確立に向け、黒毛和種繁殖牛と肥育牛の導入、簡易牛舎等生産基盤整備などを支援します。

New 遠野まちなか再生事業費・宮守まちなか再生事業費…1,816万円

4月からの「SL銀河」運行に合せ、ふれあい情報プラザ・mm1の施設改修のための設計をするなど、まちなかのにぎわい創出を図ります。

New 雇用拡大支援事業費…392万円

若手中堅社員リーダー育成などを実施し、若手労働者の人材育成を図り、地元雇用の拡大と定着を支援します。

New 遠野いわてっこ生産拡大促進事業費…380万円

集荷やPRの促進、作付面積を拡大するなどして、遠野産米「いわてっこ」の生産拡大を支援します。



まちなかのにぎわい創出を図ります



「いわて遠野牛」をPRします



現在の遠野中学校体育館の外観

04

ふるさとの文化を
育むまちづくり

New 遠野中学校屋内運動場改築整備事業費…1,115万円

校舎の改築に合わせ、老朽化の進む屋内運動場改修のための設計をします。

New 学力向上対策事業費…1,111万円

各種相談や指導にあたる教育相談員を配置するほか、学校教育専門員を配置し、学力向上のため、体制を強化します。

● 重要文化財千葉家住宅整備事業費…4,572万円

国指定重要文化財「千葉家住宅」の保護と地域活性化に向けた修理工事を開始します。

05

みんなで考え支え合う
まちづくり

New 市民センター大規模改修事業費…5億6,483万円

昭和46年に開館した市民センター(体育館とプール)を大規模改修し、市民の皆さまのニーズに応えられる施設にします。

New エネルギービジョン推進事業費…346万円

資源を有効活用した再生可能エネルギーの導入などを盛り込んだ「遠野市エネルギービジョン」の策定を行います。

New まちづくり再生事業費…2,600万円

平成25年4月の中学校再編成により閉校した旧中学校施設の利活用を調査・検討します。

改修が始まる
市民センター
体育館

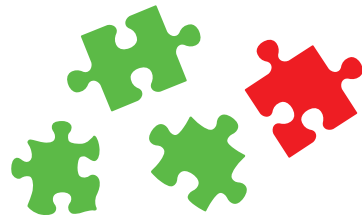


再生可能エネルギーの可能性を探ります
※画像はイメージ

遠野市の健全財政維持のため

経費節約に一工夫！

産業、教育、防災…。私たちの生活を支える施設の整備・更新、維持・管理には多くのお金が必要です。新しく整備した施設の管理費の推移と、経費削減のための市の取り組みを紹介します。



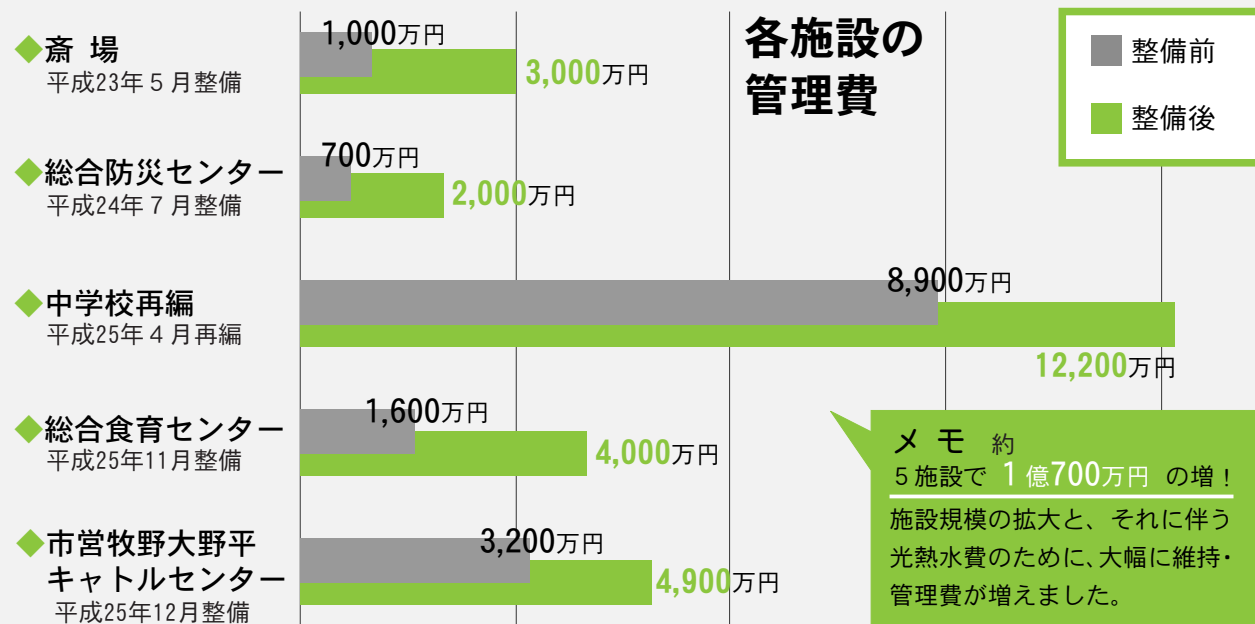
日常生活の中で、市民の皆さまの安心・安全な暮らしを支えているさまざまな施設。近年、老朽化などにより、これらの施設を整備・更新する必要性がありました。過去3年間では、施設の老朽化が進んでいた「斎場」、防災の拠点として「総合防災センター」、中学校再編による学校整備、食育の拠点「総合食育センター」、遠野牛生産拠点としての「キャトルセンター」などがあります。これらの整備により施設が大きくなったことなどから、維持・管理するための多くの費

用が必要となりました。整備前と後を比較すると、約1億700万円増加しています(下図参照)。

増加する施設の維持・管理費をねん出するために、職員は、暖房費や公用車の燃料費などの節約に努めます。また、事務のさらなる効率化により、職員の残業代や定員管理計画による職員数の抑制(右図参照)のほか、市が持っている土地などの財産を売るなどして、財源の確保に努めます。このほか、事務事業のスクラップ&ビルドにも取り組みました。

Q 最近整備・新築された施設の管理費の推移は？

A 下図のとおりです。



Q どんな節約をしていますか？

A 下図のような節約をします。



合計
約 **¥8,800万円**
節約します！

約 **7,710万円**

Q 節約するお金は
何に使われますか？

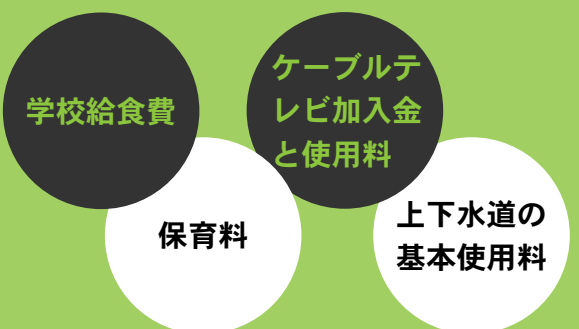
A 左図の公共施設の維持・管理などのほか、市民の皆さまの生活に関わる経費などに使われます。

約 **1,090万円**

Q 使用料・手数料で、
変わらないものはありますか？

A あります。窓口手数料のほか、子育て支援や情報格差を解消するためのものは変更しません。

★使用料・手数料で変更しない例



消費税率引き上げに伴い

各種公共料金を変更します

平成26年4月1日から消費税が5%から8%に引き上げられます。これに伴い、市の各種公共料金も値上げします。主なものを紹介しますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。



主なものを
紹介します

対象は、市民センターの各種会議室や体育館のほか、図書館の会議室や博物館関連施設、観光施設の利用率など広範囲にわたります。このほか、上下水道の従量料金(基本料は引き下げ)、し尿収集運搬手数料なども変更します。今回紹介するのは変更する一部ですので、詳しい料金については各施設に問い合わせ願います。

市営駐車場については、これまで駐車場ごとに料金が異なっていたので統一しました。また夜間料金は廃止しました。

なお、市は受益者負担の公平性をはかるため、3年に1度、各種使用料・手数料の見直しを行っており、同様のサービスや他市の状況などを踏まえ、高齢者を対象とした二つの手数料を改定しました。外出支援サービスは250円から500円**に、生活管理指導短期宿泊事業手数料は500円から**700円**に、それぞれ値上げします。**

市指定のごみ袋も値上げします(詳細はP11)。ごみ袋の値上げは、原油価格の高騰により値上げた平成19年以来です。

消費税率はこのように引き上げられます

税金は大きく分けて国税と地方税の二つ。国税は国が、地方税は地方公共団体(都道府県、市町村)がかける税金です。消費税も同じく二つに分けられます。このうち**国がかける消費税と都道府県がかける地方消費税がそれぞれ引き上げられます**。消費税は商品の販売、サービス提供などに対して課税されるものです。

なお、増税分は年金などの社会保障経費にあてられます。

メモ
消費税が2.3%、
地方消費税が0.7%、
引き上げられました。

8%

平成26年4月から

消費税
6.3%

地方消費税 1.7%

5%

これまで

消費税
4%

地方消費税 1%

会議室、運動施設など

市内の主な施設やその会議室などの一般の1時間あたりの料金(一部を除く)です。付帯設備や冷暖房、夜間の使用料などは各施設へ問い合わせください。

市民センター	市民会館	講義室 520円→ 540円
	勤労青少年ホーム	音楽室 310円→ 320円
	地区センター	会議室など 310円→ 320円
市民体育館、 稲荷下屋内運動場		体育ホール・武道ホール 個別利用 210円→ 220円 (2時間) 貸切利用(半面) 1,050円→ 1,080円
生涯学習スポーツ 施設(旧中学校)		体育館 780円→ 810円 グラウンド 420円→ 440円
赤羽根スキー場		リフト 50円→ 60円 (1回)
宮守体育館		貸切利用 630円→ 650円



観光施設など

市内の主な観光施設などの一般の1回あたりの料金(一部を除く)です。

伝承園	入園料 310円→ 320円
遠野ふるさと村	入村料 大人520円→ 540円
たかむろ水光園	入園料 310円→ 320円
	入浴料 520円→ 540円 宿泊料(大人1泊) 4,200円→ 4,320円
寺沢高原レクリエーション施設	バンガロー・夜間利用 2,000円→ 2,060円
かしわぎだいら 交流施設 ※ふるさと交流館	バーベキューガーデン 500円→ 520円 宿泊(1室) 3,500円→ 3,600円 宿泊(1人) 2,000円→ 2,060円
	蔵の道ギャラリー まちなかギャラリー 210円→ 220円



上下水道

基本料金の本体価格を引き下げ、従量料金は消費税率引き上げ分、値上げします。

①水道料金	4,500円→ 4,560円 ／月
②下水道使用料	2,572円→ 2,602円 ／月
③農業集落排水施設使用料	2,346円→ 2,370円 ／月

※①②は口径20mm、水量20㎡使用した場合の例。③は使用者が3人の場合



その他

し尿の収集運搬	手数料 200ℓまで 1,000円→ 1,030円 200ℓ超え 10ℓにつき50円→ 60円
	家畜排せつ物 などの処理 手数料 1ト単位 800円→ 830円
診療所	健康診断書 2,100円→ 2,160円
	有床義歯 (入れ歯) 147,000円→ 151,200円 (保険適用外の額)
市営駐車場 ◆普通自動車()内はそれ以外 30分まで→無料 1時間まで→ 160円(320円) 以降30分ごと→ 40円 ※夜間料金は廃止しました。	



市指定ごみ袋も変わります

消費税引き上げに伴い、市指定のごみ袋を右表のとおり変更します。ごみの減量や分別などにもご理解とご協力をよろしくお願いします。

種類	価格
普通タイプ・大	240円→ 247円
普通タイプ・中	198円→ 204円
普通タイプ・小	172円→ 177円
取っ手付きタイプ	319円→ 328円

問い合わせ 市公衆衛生組合連合
会事務局(市環境課 ☎62-2111内線
321)

貯金・借金の推移

借入れと返済のバランスを改善できています！

本市の財政状況は、公共施設の整備などの建設事業費の増大により支出が増え、平成22年度以降、プライマリーバランス(詳しくは右上の緑枠)が赤字となっていました。平成26年度は、これを食い止めるため、財政収支を均衡させ、市債の借入れと返済のバランス

を改善させる予算をつくりました。

また、本市は国の支援がある市債(借金)を可能な限り選び、事業費を組み立てています。そのため、返済の約70%が国からのお金でまかなわれるため、その残りが実質的な市の負担となります(下図参照)。

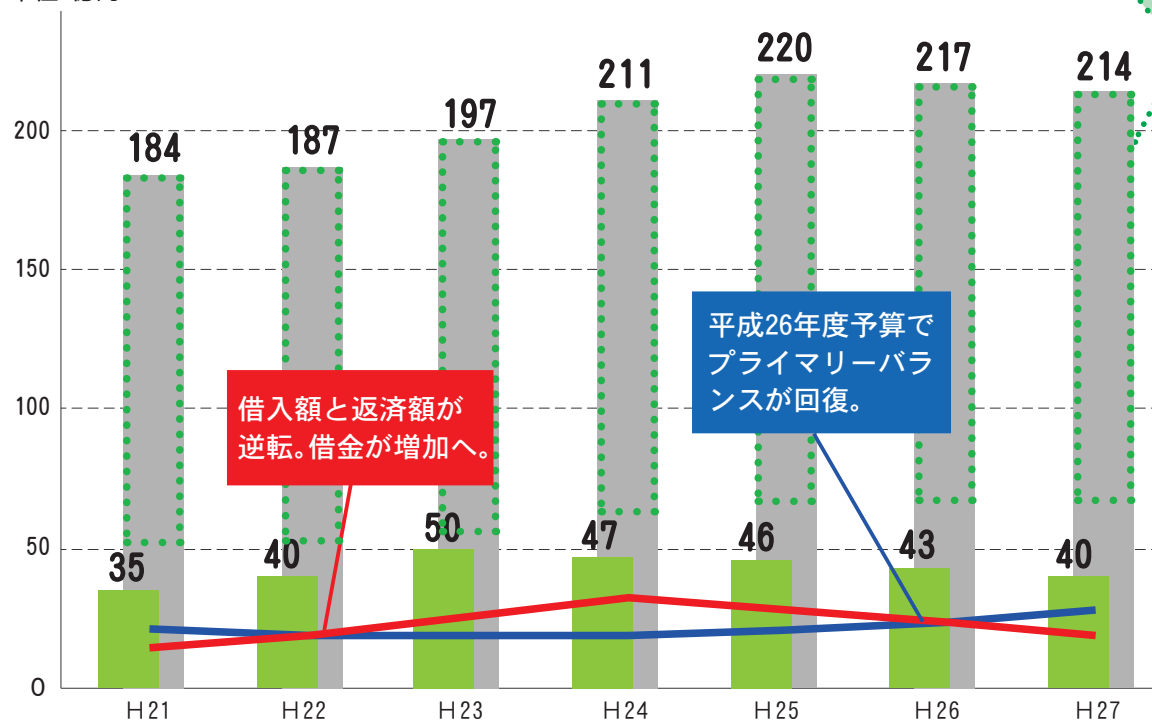
プライマリーバランスとは？

借金を除いた収入と支出のバランスのこと。このバランスが赤字の場合、将来の世代に負担を転嫁することになります。



近年の貯金・借金の推移

単位:億円



※ H25は見込額、H26・27は予算額からの試算額

返済時に
国が負担

グラフの見方

市債残高(借金) 基金(貯金) 市債借入額 元利償還金(返済額)
(うち 国負担分)